



令和5年度 指定管理者制度モニタリング評価表(令和4年度末時点)

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立たじかの園	施設所管課	福祉局 障害福祉政策担当
施設住所	尼崎市三反田町1丁目1番1号	竣工	S60.6(築満37年)
設置目的	市内に居住する1歳から就学前までの肢体不自由児に対して、療育サービスを提供するため、児童福祉法第43条に規定する医療型児童発達支援センターとして設置。		
主な事業内容	市内に居住する1歳から就学前までの肢体不自由児に対して、保護者との通園事業等を実施することによる療育サービスを提供する。		
指定管理者名	社会福祉法人尼崎市社会福祉事業団	指定期間	自 R4.4.1 至 R9.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	<input checked="" type="checkbox"/> 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 <input checked="" type="checkbox"/> 効率的な施設維持管理運営 <input type="checkbox"/> 団体等の担い手としての成長 <input type="checkbox"/> その他( )

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性	施設目標の達成に向けた取組(指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施)																																																		
	今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)																																																		
	利用率の増																																																		
	実施結果																																																		
	目標達成に向け、尼崎総合医療センター等医療機関の地域医療連携室を訪問し、園の取り組みを直接説明した他、療育紹介の機会や説明会を案内する等、利用者に情報が届くよう園の取組を関係機関に周知し、利用率の向上を目指したが、結果として目標値を大きく下回り、目標未達となった。(指標②)																																																		
	(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況																																																		
	指標①：支援への満足度(%)																																																		
	年度	H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8																																																	
	目標	- - - - - - 100% 100% 100% 100% 100%																																																	
	実績	- - - - - - 92%																																																	
達成度	- - - - - - 92%																																																		
評価	- - - - - - ○																																																		
指標②：施設利用率(%)																																																			
年度	H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8																																																		
目標	- - - - - - 70% 72% 72% 74% 74%																																																		
実績	- - - 67% 70% 66% 63% 41%																																																		
達成度	- - - - - - 59%																																																		
評価	- - - - - - △																																																		
◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を(概ね)達成した、△目標未達(事情あり)、×目標未達(事情なし)																																																			
効率性	①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか																																																		
	今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)																																																		
	通園児が集団生活を通して社会性を伸ばし、自立に必要な生活習慣を体得することを目指す。																																																		
	実施結果及び評価																																																		
	保護者アンケートを実施し、その結果から子どもたちの特性を把握・理解し、児童発達支援計画の作成に活かすことで、自立に必要な生活習慣を体得することに向けた療育の質の確保に取り組んでいることから、市民サービスは維持できている。	○																																																	
	市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した(特別な事情あり)、×低下した(事情なし)																																																		
	②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか																																																		
	今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)																																																		
	不要な電気の消灯を徹底することで、無駄な支出を減らし、環境マネジメントシステムでの各チェックシートを活用するなど環境配慮につなげていく。																																																		
	実施結果及び評価																																																		
電気が高騰する中、こまめな消灯の徹底など経費削減の取組がされており、効率性と環境に配慮した施設管理は両立できている。	○																																																		
◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している																																																			
(参考) 経費の状況(単位:円)																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">収入</th> <th colspan="3">支出</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>予算額</th> <th>決算額</th> <th>項目</th> <th>予算額</th> <th>決算額</th> <th>差引</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定管理料</td> <td>157,319,000</td> <td>157,319,000</td> <td>人件費</td> <td>138,283,000</td> <td>139,690,025</td> <td>-1,407,025</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費</td> <td>3,399,000</td> <td>2,464,557</td> <td>934,443</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事務費</td> <td>9,491,000</td> <td>8,108,040</td> <td>1,382,960</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他</td> <td>6,146,000</td> <td>6,146,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>収入計</td> <td>157,319,000</td> <td>157,319,000</td> <td>支出計</td> <td>157,319,000</td> <td>156,408,622</td> <td>910,378</td> </tr> </tbody> </table>				収入			支出			項目	予算額	決算額	項目	予算額	決算額	差引	指定管理料	157,319,000	157,319,000	人件費	138,283,000	139,690,025	-1,407,025				事業費	3,399,000	2,464,557	934,443				事務費	9,491,000	8,108,040	1,382,960				その他	6,146,000	6,146,000	0	収入計	157,319,000	157,319,000	支出計	157,319,000	156,408,622	910,378
収入			支出																																																
項目	予算額	決算額	項目	予算額	決算額	差引																																													
指定管理料	157,319,000	157,319,000	人件費	138,283,000	139,690,025	-1,407,025																																													
			事業費	3,399,000	2,464,557	934,443																																													
			事務費	9,491,000	8,108,040	1,382,960																																													
			その他	6,146,000	6,146,000	0																																													
収入計	157,319,000	157,319,000	支出計	157,319,000	156,408,622	910,378																																													

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項(選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由)

重視された事項	就学前幼児の通園事業のみならず、成人に至るまでの障害児(者)の在宅における生活に対して、それぞれのニーズに応じ、ライフステージを通じた一貫性のある支援を提供しており、利用者の福祉の向上に寄与しているため。
指定管理者自身が設定した目標	園での療育イメージ「たじかのっこの大きな木」に沿い、様々な経験が提供できるよう支援を充実していく。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	母子通園を通じて、機能訓練や保育、生活指導等を受け社会生活に適応するため、自立に必要な生活習慣を体得することができる。						
目標指標	指標	たじかの園の利用率(%)					
	指定期間	R4	R5	R6	R7	R8	達成状況の評価
	目標値	70.00	72.00	72.00	74.00	74.00	目標値を大きく下回る結果となった。
	実績値	41.00					

法令遵守

施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
施設の経営状況	
収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
危機管理-事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
履行状況-提案時及び年度当初の計画等のとりに業務を行ったか	
年度事業計画書における計画どりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

関係性の構築

適宜、報告・連絡を取りあい、密に連携することで、関係性は向上した。
協働の状況(グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況)
新型コロナウイルス感染拡大が収束しない中、コロナ陽性者が発生した時など、適宜連絡をとりあいながら密に連携し、事業継続とサービス提供水準を維持することができた。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項(総括)

保育所等訪問支援などアウトリーチ事業を積極的に実施し、実績を伸ばすことができたものの、社会情勢の影響があったとはいえ、利用率の増という目標は達成できなかった。目標の達成に向け、引き続き市と協議していきたい。また、施設維持管理については、施設の老朽化への対応や段差解消といったバリアフリー化など誰もが利用できる施設であるよう改修が必要であるとする。園の抱える課題として、医師の確保や令和6年度の児童福祉法改正への対応などがあり、目標達成とは別に、市と協議して進めていきたい。
市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項(総括)
利用率に関する年度目標は大きく未達となっており、医療機関等への訪問や案内を送付するなど情報の周知を図ったが、利用率向上には大きく寄与しなかった。情報周知には一定取り組んでいることから、現在の取組を継続しながら、情報不足以外の要因がないのか、市と指定管理者が協力しながら考えていきたい。指定管理業務に関しては、今後も市と指定管理者の間で連携しよりよい関係を築くことで、療育の質の向上を図りたい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性(単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載)
新型コロナウイルス感染拡大といった前例のない社会情勢も踏まえ、目標である園の利用率向上に向け、今年度の取組を継続しつつ、指定管理者が積極的に取り組んでいるアウトリーチ事業を活用できないか等、更なる事業展開について市と指定管理者で協議し、課題解決に取り組んでいく。

令和5年度 指定管理者制度モニタリング評価表(令和4年度末時点)

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立身体障害者デイサービスセンター	施設所管課	福祉局 障害福祉政策担当課
施設住所	尼崎市七松町3丁目8番8号	竣工	H14.7(S55.3新築を一部改修・増築、築満42年)
設置目的	在宅の心身障害者に対し、通所の方法により各種のサービスを提供することにより、その自立の促進、生活の改善、身体の機能の維持向上等を図る施設として設置		
主な事業内容	障害者総合支援法に基づく生活介護事業と室内温水プール事業		
指定管理者名	社会福祉法人尼崎市社会福祉事業団	指定期間	自 H31.4.1 至 R6.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	<input checked="" type="checkbox"/> 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 <input type="checkbox"/> 効率的な施設維持管理運営 <input type="checkbox"/> 団体等の担い手としての成長 <input type="checkbox"/> その他( )

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

**施設目標の達成に向けた取組(指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施)**  
 今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)  
 常時介護が必要な方にも通所による各種サービスの提供を継続することにより、その生活の維持向上等を図る。

**実施結果**  
 利用者のほとんどが障害支援区分5、6の常時介護の必要な重度障害のある方で、そのような方にも安定して各種サービスを提供することができた。(指標①②)

有効性

(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：重度障害者の利用率(単位：%)												
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
目標	-	-	-	-	-	-	95%	95%				
実績	-	-	-	-	-	-	96%	97%				
達成度	-	-	-	-	-	-	-	102%				
評価	-	-	-	-	-	-	◎					

指標②：平均障害区分※3月(年度最終月実績)における障害区分の平均												
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
目標	-	-	-	-	-	-	5.70	5.70				
実績	-	-	-	5.83	5.80	5.77	5.80					
達成度	-	-	-	-	-	-	-	102%				
評価	-	-	-	-	-	-	◎					

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を(概ね)達成した、△目標未達(事情あり)、×目標未達(事情なし)

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか  
 今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)  
 利用者から要望を反映させる取組を行う。

**実施結果及び評価**  
 毎年、利用者アンケートを実施している。生活介護事業では、利用者や家族の意見を基に個別支援計画を作成し、サービス提供を行っている。 ○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した(特別な事情あり)、×低下した(事情なし)  
 ◎効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか  
 今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)  
 こまめな消灯など経費の低減、環境マネジメントシステムでの各チェックシートを活用するなど環境に配慮した取組を行う。

**実施結果及び評価**  
 こまめな消灯の徹底や新電力の導入など経費削減、温室効果ガス排出量削減を意識した取組を行った。 ○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているもどまではない、×環境への配慮が不足している

(参考) 経費の状況(単位：円)

収入			支出				
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	80,802,000	82,344,750	1,542,750	人件費	62,892,000	55,798,535	-7,093,465
補助金	0	3,836,250	3,836,250	事業費	7,653,000	10,295,993	2,642,993
補助金	0	468,000	468,000	事務費	7,100,000	9,359,445	2,259,445
				その他	3,157,000	7,997,000	4,840,000
収入計	80,802,000	86,649,000	5,847,000	支出計	80,802,000	83,450,973	2,648,973

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項(選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由)

重視された事項	利用者の障害状況等に応じた各種サービスを安定かつ充実して実施できること
指定管理者自身が設定した目標	常時介護が必要な重度障害者にも通所による各種サービスの提供を継続することにより、その生活の維持向上等を図る。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	常時介護が必要な方にも通所で各種のサービスを提供することにより、その生活の維持向上等を						
指標	平均障害支援区分※3月(年度最終月実績)における障害支援区分の平均						
指定期間	R1	R2	R3	R4	R5	達成状況の評価	
目標値	-	-	-	5.70	5.70	目標を上回り、重度障害者にサービスを提供できている。	
実績値	5.83	5.80	5.77	5.80			

法令遵守	
施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
施設の経営状況	
収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとりに業務を行ったか	
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

**関係性の構築**  
 定期的な説明会の他、協議事項があれば、指定管理者と密に連絡を取り合いながら協議してきた。

**協働の状況(グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況)**  
 入浴支援に使用する特殊浴槽(座位)が老朽化により、今後、修理不可能となる可能性があったが、指定管理者は公益財団法人JKAの補助金を活用することにより、また、所管課は速やかに予算措置を行うことにより、低予算にて新規の浴槽(仰臥位)に入れ替えることができた。

**指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項(総括)**  
 医療的ケアの必要な利用者を含めて障害支援区分5・6の重度障害者28人(利用者全体の95%)に対して安定的に生活介護サービスを提供することができた。引き続き同様のサービスの頻度を上げるとともに、医療的ケアが必要な利用者への更なる対応のための職員配置等について市と協議していきたい。

**市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項(総括)**  
 利用者のほとんどが、障害支援区分5・6の重度障害者であり、そのような方にも安定して障害サービスを提供できている。今後も医療的ケアの必要な方を含めて、重度障害者へのサービス提供の担い手として運営を行ってほしい。

**双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性(単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載)**  
 医療的ケアの必要な利用者への対応の拡充という今後の展望は、市・指定管理者共に一致している。そのための人員配置に伴う財源捻出や特殊浴槽の入替等での効率化による配置改善を協議していくほか、送迎車など経年劣化がある備品が多く、今後、入れ替えが必要なものが多いため、その対応や仕様書変更についても協議を進めていく。

パートナーシップ

令和5年度 指定管理者制度モニタリング評価表(令和4年度末時点)

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立身体障害者福祉センター	施設所管課	福祉局 障害福祉政策担当課
施設住所	尼崎市三反田町1丁目1番1号	竣工	S60.3(築満37年)
設置目的	市内に居住する心身障害者の増進及びその社会活動の促進を図るための中核的施設として設置		
主な事業内容	機能訓練に関する事業と教養の向上に関する事業		
指定管理者名	社会福祉法人尼崎市社会福祉事業団	指定期間	自 R4.4.1 至 R9.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	<input checked="" type="checkbox"/> 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 <input checked="" type="checkbox"/> 効率的な施設維持管理運営 <input type="checkbox"/> 団体等の担い手としての成長 <input type="checkbox"/> その他( )

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組(指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施)

今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)  
 身体障害者福祉センター利用者数の増加

実施結果  
 コロナ禍の影響により令和元年度から利用者数は減少傾向にあるが、令和4年度は利用者数13,063人と目標値の131%と目標を達成している。(指標②)

(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：接遇面の利用者満足度(単位:%)												
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
目標	-	-	-	-	-	-	80%					
実績	-	-	-	-	-	81%	83%					
達成度	-	-	-	-	-	-	104%					
評価	-	-	-	-	-	-	◎					

  

指標②：利用者数(単位:人)												
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
目標	-	-	-	-	-	-	10,000	10,500	11,000	11,500	12,000	
実績	21,545	21,407	23,827	19,558	11,470	9,750	13,055					
達成度	-	-	-	-	-	-	131%					
評価	-	-	-	-	-	-	◎					

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を(概ね)達成した、△目標未達(事情あり)、×目標未達(事情なし)

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)  
 利用者からの要望を反映させる講座その他取組を行う。

実施結果及び評価  
 毎年、利用者アンケートを実施している。自立訓練では利用者の意見を基に個別支援計画を作成し、サービス提供を行っている。令和元年度から意見交換会などの場を設け、事業改善に取り組んでいる。 ○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した(特別な事情あり)、×低下した(事情なし)

②効率性と環境に配慮した施設管理などを両立できているか

今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)  
 こまめな消灯など経費の低減、環境マネジメントシステムでの各チェックシートを活用するなど環境に配慮した取組を行う。

実施結果及び評価  
 こまめな消灯の徹底など温室効果ガス排出量削減を意識した取組を行った。 ○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているもまではいえない、×環境への配慮が不足している

(参考) 経費の状況(単位:円)

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	71,395,000	71,395,000	0	人件費	53,230,000	59,233,568	6,003,568
				事業費	6,453,000	2,796,784	-3,656,216
				事務費	8,923,000	11,017,656	2,094,656
				その他	2,789,000	2,789,000	0
収入計	71,395,000	71,395,000	0	支出計	71,395,000	75,837,008	4,442,008

有効性

効率性

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項(選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由)

重視された事項	各種講座や自立訓練を実施する等、市が推進する障害者施設に応じた取組を行ってきており、より国等の制度が複雑多様化する状況においても積極的かつ安定的に事業を展開できること
指定管理者自身が設定した目標	地域の関係機関や障害者団体、障害福祉サービス事業所などと連携し、地域で生活する障害者を支援するとともに、地域や市民に親しまれ、愛される施設として、障害者と地域をつなぐ役割を果たしていく。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	障害のある方と地域をつなぐ役割の施設として多くの障害のある方に利用してもらう。						
目標指標	指標	利用者数(単位:人)					
	指定期間	R4	R5	R6	R7	R8	達成状況の評価
	目標値	10,000	10,500	11,000	11,500	12,000	令和4年度の目標を達成しており、達成状況は良好である。
	実績値	13,055					

法令遵守	
施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正

施設の経営状況	
収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとりに業務を行ったか	
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

関係性の構築

定期的な説明会の他、協議事項があれば、指定管理者と密に連絡を取り合いながら協議してきた。

協働の状況(グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況)  
 コロナ禍において体育室や貸館の利用に制限を設けていたが、利用者から緩和してほしいとの意見が多く上がっていた。所管課は他課所管の生涯学習プラザの利用制限の状況を調査し、指定管理者に情報提供を行い、「身障センター感染拡大防止ガイドライン」の再整備を行った。指定管理者は具体的な緩和策を作成し、利用者により速やかに周知した。これにより利用者の意見を施設運営に反映することができた。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項(総括)

コロナ禍においてクラスターを発生させないよう感染対策を実施し利用制限を設けていたが、利用者から利用制限緩和の要望があったため、具体的な緩和策を作成し、利用者向け説明会を実施した上で、利用制限の緩和を進めた。今後は、貸館・事業運営に係る利用制限と緩和について市の方である程度方針を示していただき、タイムリーな運用ができるよう利用ガイドラインを設けて欲しい。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項(総括)

教育・障害福祉センター2階へ移転してきた身体障害者福祉会館との関係を深め、相乗効果となるように指定管理者、所管課、身体障害者福祉会館で連携していくことを求める。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性(単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載)

新型コロナウイルス感染症にかかる規制緩和など、教育・障害福祉センター2階の身体障害者福祉会館等の他施設と足並みをそろえるべき事項については所管課主体で調整を行い、今後、身体障害者福祉会館と連携を深められるように所管課を含めた3者で協議を行いながら、より多くの障害者に利用してもらえる施設を目指していく。

適正性

パートナーシップ

令和5年度 指定管理者制度モニタリング評価表(令和4年度末時点)

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立身体障害者福祉会館	施設所管課	福祉局 障害福祉政策担当課
施設住所	尼崎市三反田町1丁目1番1号	竣工	R4.8(S60.3新築を一部改修し移転、築満37年)
設置目的	市内に居住している身体障害者の交歓及び厚生福利の増進並びに社会福祉活動の進展を図る施設として設置		
主な事業内容	尼崎市立身体障害者福祉会館の維持管理及び貸館業務		
指定管理者名	特定非営利活動法人 尼崎市身体障害者連盟福祉協会	指定期間	自 R4.4.1 至 R9.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B(指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設)
指定管理者に主として期待される事項	<input type="checkbox"/> 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 <input checked="" type="checkbox"/> 効率的な施設維持管理運営 <input type="checkbox"/> 団体等の担い手としての成長 <input type="checkbox"/> その他( )

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組(指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施)
今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定) 身体障害者福祉会館の利用者数の増加
実施結果 コロナ禍の影響により令和元年度から利用者数は減少傾向にあったが、令和4年度は令和3年度より増加し、利用率は概ね目標を達成しており、利用者数は目標値の134%と目標を達成している。(指標①②)

有効性

(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況												
指標①：貸室利用率(単位:%)※移転後8月からの集計												
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
目標	-	-	-	-	-	-	27%	28%	29%	30%	31%	
実績	-	-	-	-	-	-	26%					
達成度	-	-	-	-	-	-	96%					
評価	-	-	-	-	-	-	○					
指標②：貸室利用者数(単位:人)												
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
目標	-	-	-	-	-	-	4,000	4,200	4,400	4,600	4,800	
実績	11,286	11,413	11,184	9,936	2,451	2,896	5,344					
達成度	-	-	-	-	-	-	134%					
評価	-	-	-	-	-	-	◎					

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を(概ね)達成した、△目標未達(事情あり)、×目標未達(事情なし)

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか  
今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)  
利用者の満足が得られる貸し館業務及び施設管理運営を行う。

実施結果及び評価 コロナ禍における事業運用では、感染予防対策を徹底したガイドラインを作成し、チェックシートを活用するなど、利用者が安全に安心して利用できるよう運営を行った。	○
---	---

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した(特別な事情あり)、×低下した(事情なし)

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか  
今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)  
こまめな消灯など経費の低減、環境マネジメントシステムでの各チェックシートを活用するなど環境に配慮した取組を行う。

実施結果及び評価 こまめな消灯の徹底など温室効果ガス排出量削減を意識した取組を行った。	○
--	---

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているがまではいえない、×環境への配慮が不足している

(参考) 経費の状況(単位:円)

収入			支出		
項目	予算額	決算額	項目	予算額	決算額
指定管理料	4,966,000	4,966,000	人件費	3,451,000	3,508,661
返還額	0	-632,306	事業費	0	0
身障会館特定資産	0	632,306	施設維持管理運営費	577,000	559,743
受取利息	0	15	事務費	938,000	953,861
収入計	4,966,000	4,966,015	支出計	4,966,000	5,022,265

効率性

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項(選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由)

重視された事項	障害者団体である指定管理者の視点や施設利用者の立場も踏まえた自主的な管理が市民サービスの向上、管理経費の縮減等につながる。
指定管理者自身が設定した目標	指定管理者である身体障害者連盟協会をはじめとする障害者団体が利用しやすいように維持管理に努める。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	利用しやすい施設としてより多くの障害者に利用してもらう。						
目標指標	指標	貸室利用者数(単位:人)					
	指定期間	R4	R5	R6	R7	R8	達成状況の評価
	目標値	4,000	4,200	4,400	4,600	4,800	令和4年度の目標を達成しており、達成状況は良好である。
	実績値	5,344					

法令遵守	
施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	要改善
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正

施設の経営状況	
収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正

履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとりに業務を行ったか	
年度事業計画書における計画どりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

関係性の構築	
定期的な説明会の他、協議事項があれば、指定管理者と密に連絡を取り合いながら協議してきた。	

協働の状況(グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況)	
令和4年8月1日の教育・障害福祉センターへの施設移転後の運営についての協議を重ね、利用許可申請書・使用料還付請求書の様式や事務室の使用許可を整理する他、機械警備や郵便など教育・障害福祉センターにて関係する他部署との調整などを行った。これにより移転後もスムーズに館運営が行われている。	

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項(総括)	
令和4年8月1日の教育・障害福祉センター移転後も大きな問題なく館運営が継続できている。今後、新型コロナウイルス感染症にかかる規制が緩和されていく中で、同センター内の身体障害者福祉センターと足並みをそろえて緩和を行うために調整や情報提供を所管課には行ってほしい。	

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項(総括)	
令和4年8月1日の教育・障害福祉センター移転後も大きな問題なく館運営が継続できている。移転後に導入している障害者への情報支援機器等を活用した館運営を所管課と指定管理者で協議して考えていきたい。	

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性(単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載)	
新型コロナウイルス感染症にかかる規制緩和等、他施設と足並みをそろえるべき事項については所管課主体で調整を行い、情報支援機器の活用等の具体的な館運営については障害者団体である指定管理者と所管課で協議を行っていくことで、より多くの障害者に利用してもらえる施設を目指していく。	

パートナーシップ